

第14回熊本県スペシャル交流大会

開催要項

主催 熊本市体操協会トランポリン委員会
共催 熊本県体操協会トランポリン委員会
日時 令和5年9月10日(日) 9:00~17:00
会場 熊本市総合体育館 中体育室 〒862-0941 熊本市中央区出水2丁目7-1
TEL096-385-1010

参加資格 九州在住の知的発達障害、身体障害がある者
参加区分 ①個人10種目の部(S・A・Bクラス)
②個人5種目の部
③演技発表の部
④シンクロ発表の部
※①のクラス分けは別紙参照
※参加者多数の場合は、①②を学年によって分ける可能性あり
使用台 FIG認定ユーロトランポリン、普及型ミドルサイズ
参加費

参加区分	参加費	備考
①個人10種目の部(S・A・B)	3,000円/人	別途日本体操協会選手登録(登録料1000円)が必要となります。
②個人5種目の部		
③演技発表の部		
④シンクロ発表の部	5,000円/1ペア	

※参加費は、クラブ代表者がまとめてお振込みください。

表彰 参加者全員を表彰する。
競技規則 (公財)日本体操協会トランポリン委員会制定の競技規則に準じて行う。
ただし、一部大会特別ルール(別紙参照)を適用する。
服装 運動するのに適した服装とする。
申込方法 各クラブまとめて申込用紙(Excelファイル)に必要事項を入力の上、メールにてお申込みください。宛先: kumamoto.trampoline.a@gmail.com

振込先 ゆうちょ銀行から振り込まれる場合

【口座番号】 17130 31007241

【口座名義】 タケザキ ユミ

※キャンセルや棄権の場合でも参加費は返金いたしませんのでご了承ください。

申込・振込期限 申込: 令和5年8月6日(日) 振込: 令和5年8月10日(木)

問合せ先 熊本県トランポリン協会 スペシャル部 竹寄 由美

TEL 090-6893-4828

その他 【大会中の事故防止について】

- ・大会運営については、細心の注意を払い事故防止に務めます。
- ・主催者が十分に注意を払い、参加者が主催者側の指示に従ってもなお発生する不可抗力の事故等については、一切の責任は負えませんので予めご了承ください。

スペシャルトランポリン交流大会 競技内容

① 個人 10 種目の部

公式練習は行わず、2本のウォーミングアップのあと、自由演技の試技を2回行う。2回目の試技は、1回目と同じ順番で行う。

最終順位は2回の試技の演技得点の合計によって決定する。同点の場合には2回目の試技の演技得点で決定する。演技得点は、演技審3名の演技点（各10点満点）と難度点の合計とする。

膝落ち、よつんばい落ちは種目として認める。

【クラス分けのルール】

クラス	宙返り（270度以上の回転）	声掛け・模倣
S	1種目以上実施すること。実施しなかった場合は、各演技審の演技点から1.0点ずつ減点する。	声掛け・模倣は禁止し、実施した場合は各演技審の演技点から2.0点ずつ減点する。
A	宙返りは禁止し、実施した場合は中断とする。	
B		自由に行うことができる。

※ 安全のため、Sクラス出場選手はコーチ資格保有者が引率すること。

② 個人 5 種目の部

公式練習は行わず、2本のウォーミングアップのあと、自由演技の試技を2回行う。2回目の試技は、1回目と同じ順番で行う。

最終順位は2回の試技の演技得点の合計によって決定する。同点の場合には2回目の試技の演技得点で決定する。演技得点は、演技審3名の演技点（各5点満点）と難度点の合計とする。

声掛け、模倣は自由に行うことができ、膝落ち、よつんばい落ちは種目として認める。

宙返りは禁止し、実施した場合は中断とする。

③ 演技発表の部

公式練習は行わず、90秒以内の発表を1回行う。道具や音楽の使用、コーチ・指導員と一緒に発表するなど、内容は自由とする。

トランポリン台はFIG認定ユーロトランポリンとミドル台の選択制とする。

④ シンクロ発表の部

公式練習は行わず、2本のウォーミングアップのあと1回の発表（10種目または5種目）を行う。ペアの制限はなく、保護者、コーチ、指導者等とのペアでも出場できる。

【注意事項】

- ・ ①個人10種目の部、②個人5種目の部、③演技発表の部は、いずれか1つのみエントリーできる。
- ・ ④シンクロ発表の部は、①個人10種目の部、②個人5種目の部、③演技発表の部の出場者も重複してエントリーできる。
- ・ ①個人10種目の部、②個人5種目の部は、各選手の1回目の試技開始前に、コーチ・指導員による20秒間の選手紹介ができる。
- ・ ③演技発表の部は、各選手の発表中に、コーチ・指導員による選手紹介ができる。
- ・ 参加区分・参加クラスは、選手に無理がないように、コーチ・指導員が適切に判断すること。